

科目名		発展ゼミナールⅡ				開講 キャンパス	神 埼
担当者		岡 部 由紀夫					
開講年次		3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択
授業の概要 及びねらい		本演習では、児童、障害者、病者などの心理・社会的支援についての幅広い領域に関する興味を深め、心理・社会的支援の基礎、倫理、技術についての概説する。また卒業論文作成への基本的理解を深めるため、文献検索の仕方や、資料収集の方法などについて説明し、演習する。					
授 業 の 到達目標		①社会問題に関心を持ち、現状を調べることができる。 ②社会問題について、現状と課題が整理できるようになる。 ③問題意識を明らかにし、卒論のテーマを絞り込むことができる。 ④基本的な構想を言語化できるようになる。 ⑤課題に即した資料・文献収集ができるようになる。 ⑥課題の報告を機材を用いてプレゼンテーションできる。 ⑦卒業論文作成に向けた動機を高め、テーマを設定して取り組む。 ⑧図書館やネットを通じて情報を収集し、分析できる。 ⑨自己の実践活動についてまとめる力量を高める。 ⑩卒業論文の章立てを行い、書き始めることができる。					
学習方法		個人またはグループによる発表、討議。					
テキスト及び参考書等		随時、資料を配布 ※参考書：岩田正美ほか編『社会福祉研究法』有斐閣、2006					
評価基準・方法		到達目標				評価割合%	
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎	○	○	◎		60
授業態度			○	◎			20
受講者の発表		○	○		◎		10
授業への参加度		○		◎			10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
通 年	第1週	オリエンテーション（前期）					
	第2週	現代社会と福祉について（講義）					
	第3週	グループ報告Ⅰ：現代社会と高齢者福祉の現状					
	第4週	グループ報告Ⅰ：現代社会と障がい者福祉の現状					
	第5週	グループ報告Ⅰ：現代社会と児童・家庭福祉の現状					
	第6週	グループ報告Ⅰ：現代社会と低所得者支援の現状					
	第7週	グループ報告Ⅰ：現代社会と権利擁護の現状					
	第8週	中間まとめ					
	第9週	グループ報告Ⅱ：現代社会と高齢者福祉の課題					
	第10週	グループ報告Ⅱ：現代社会と障がい者福祉の課題					
	第11週	グループ報告Ⅱ：現代社会と児童・家庭福祉の課題					
	第12週	グループ報告Ⅱ：現代社会と低所得者支援の課題					
	第13週	グループ報告Ⅱ：現代社会と権利擁護の課題					
	第14週	研修会等（学外）への参加					
	第15週	中間まとめ（前期）					
	第16週	オリエンテーション（後期）					
	第17週	卒論への取り組み①（研究の目的）					
	第18週	卒論への取り組み②（研究レビューの進め方）					
	第19週	卒論への取り組み③（研究の倫理）					
	第20週	卒論への取り組み④（研究課題の設定と手順）					
	第21週	卒論への取り組み⑤（仮説の構成と検証の手続き）					
	第22週	卒論への取り組み⑥（研究資料の収集と分析）					
	第23週	卒論発表会へ参加					
	第24週	卒論発表会へ参加					
	第25週	卒論発表会へ参加					
	第26週	卒論の構想（テーマ設定等）					
	第27週	個別テーマの報告①					
	第28週	個別テーマの報告②					
	第29週	個別テーマの報告③					
	第30週	まとめ（後期）					
	第31週						
	第32週						
備 考		【授業外の学習】・講義前（発表や個別指導等）は、事前準備・学習を十分に行うこと。 特に、発表・報告前には事前に個別指導を受けるようにして下さい。					